

町政功労者表彰受賞者

| 表彰区分   | 地域 | 氏名                    | 功績内容  |
|--------|----|-----------------------|---|
| 地方自治功労 | 春日 | もり 森 久 様              | 多年にわたり、行政推進員として、町内自治の振興、発展に貢献されました。         |
| 社会福祉功労 | 揖斐 | いひはら 石原 しなへ 様         | 永年にわたり、民生委員として、社会福祉の向上に尽くされました。             |
| 社会福祉功労 | 谷汲 | むつな 六ツ名 得誠 様          | 永年にわたり、民生委員として、社会福祉の向上に尽くされました。             |
| 社会福祉功労 | 藤橋 | ふかひら 中河 の志 様          | 永年にわたり、民生委員として、社会福祉の向上に尽くされました。             |
| 学芸功労   | 揖斐 | なかつら 中村 和男 様          | 永年にわたり、子供歌舞伎の保存、伝承に努められ、地域の文化振興に尽くされました。    |
| 学芸功労   | 春日 | こまつき 駒月 良男 様          | 永年にわたり、種本中瀬太鼓踊りの保存、継承に努められ、地域の文化振興に尽くされました。 |
| 学芸功労   | 藤橋 | すぎしま 杉島 邦夫 様          | 永年にわたり、文化活動を推進し、地域文化の向上発展に尽くされました。          |
| 農業功労   | 坂内 | やまぐちばちろう えもん 山口八右衛門 様 | 永年にわたり、農事改良組合長を務められ、地域農業の振興、発展に尽くされました。     |
| 林業功労   | 春日 | もり 森 泰朗 様             | 永年にわたり、林業技術の改良及び森林保護に努め、林業振興に尽くされました。       |
| 保健衛生功労 | 久瀬 | ひろは 廣瀬 すぎ 様           | 永年にわたり、清掃活動を行い、地域環境美化に尽くされました。              |

感謝状受賞者

| 地域 | 地区  | 氏名           | 功績内容                                |
|----|-----|--------------|-------------------------------------|
| 揖斐 | 瑞岩寺 | もり 森 悦郎 様    | 多年にわたり、行政推進員として、町内自治の振興、発展に貢献されました。 |
| 久瀬 | 西津汲 | たかはし 高橋 乃悟 様 | 多年にわたり、行政推進員として、町内自治の振興、発展に貢献されました。 |

行政推進員研修会で  
町政功労者を表彰

4月16日(土)、揖斐川町役場で、行政推進員研修会が開催されました。

研修会では、10人が町政功労者として表彰され、多年、行政推進員として貢献された2人に感謝状が贈呈されました。

また、愛知大学の鈴木誠教授を講師としてお迎えし、「住民参加と協働のまちづくりについて」の講演が行われました。

功労者表彰および感謝状の贈呈を受けられた方々は次のとおりです。



▲功労者表彰および感謝状を受けられた皆さん



▲協働のまちづくりについての講演

北方財産区管理委員を選任  
豊かな自然を守ります

4月7日(木)、揖斐川町役場で北方財産区約22.4万平方メートルの山林管理を担う北方財産区管理委員の方々に選任書の交付が行われました。

揖斐川町は面積の約9割が森林です。豊かな森林資源は、水源地域として、また、二酸化炭素の軽減などの地球温暖化防止の面からも、果たす役割は大きいものです。

北方財産区管理委員の任期は4年で、次の方々が選任されました。

- 森本 昭さん、林 信隆さん、吉田千利さん、折戸岩男さん、折戸三夫さん、高橋隆義さん、野田 勇さん



▲選任書交付式の様子

揖斐川ライオンズクラブ奉仕活動

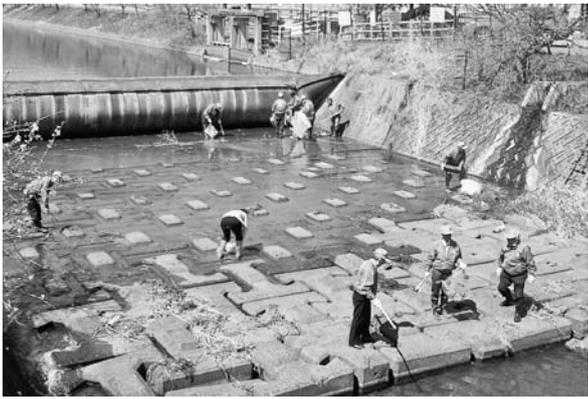
〜美しい河川を 桂川清掃〜

4月6日(水)、揖斐川ライオンズクラブの会員による桂川の清掃活動が行われました。

揖斐川ライオンズクラブは、献血の呼びかけや町内各幼児園へのサンタクロース訪問活動など様々な社会貢献活動を展開しています。

この日は、会員約30人が参加して桂川の中島公園付近で清掃活動を行い、空き缶やペットボトル、ビニールの空き袋など、2トントラック1台分のゴミが集められました。

揖斐川ライオンズクラブの皆さん清掃活動ありがとうございました。



▲清掃活動の様子

イビデンの森で植樹活動

〜みんなで森林を再生しよう〜

岐阜県の森林保全や地球温暖化防止のために企業参加による森林づくりを行なう植樹活動が、4月9日(土) 東横山の「イビデンの森」で行われました。

今年で4回目となる今回は、イビデングループの社員とその家族、地域の皆さんなど約200人が、ソメイヨシノやヤマザクラなどの苗木58本を植えました。これで、今までに植樹された木は、約360本となり、美しい花を咲かせる憩いの森が広がってきました。

参加者は、「活動を通じて知らず知らずのうちに環境に対する関心が高まってきました。」と話していました。イビデンの森には、今後、ハナモモやヤマボウシなど1000本の植樹が行われる予定です。



▲植樹活動の様子

行政相談委員に感謝状贈呈

4月15日(金)、行政相談委員を退任された駒月善見さん(春日美束)と竹中章さん(西津波)の長年の行政相談事業の発展に寄与した功績に対して、総務省岐阜行政評価事務所長から総務大臣感謝状が手渡されました。

行政相談委員の活動は、行政への意見や要望などの相談に応じるもので、駒月さんは、平成11年から12年間、竹中さんは、平成17年から6年間の長きにわたり、様々な相談に快く応じていただき活躍されました。



▲感謝状を受けられた駒月さん(左)と竹中さん(右)

ねそね祭り140年ぶりに復活

〜北方神社〜

4月17日(日)、北方神社で140年ぶりに「ねそね祭り」がおこなわれました。この祭りは、農家の年中行事を踊りやせりふで表現する田植えの舞で、豊作祈願の伝統行事です。「ねそね」とは、ゆつくりという意味で、苗の成長を見守る農民の思いが込められているそうです。

今回は、北方神社百年祭に合わせ、地域の方々が1年以上も前から古文書を基に内容を調べ、踊りを復活させました。

140年ぶりの復活とあって多くの観客で賑わいました。また、町の重要無形民俗文化財に指定されている北方踊りも披露されました。



▲ねそね祭りの踊りを披露する皆さん



▲「頭教をどり」を披露する皆さん

春日と日坂の住民76人が、400年以上にわたって伝え継がれている「頭教をどり」を京都市の東本願寺で奉納しました。

この踊りのメンバーは、過疎の進む集落で消えつつあった踊りを継承しようと集まり、1年前に練習を開始しました。今回はこの踊りが、関ヶ原の合戦で京都本願寺の教如上人の窮地を救った際の踊りとされていることから、東本願寺での披露となりました。メンバーの皆さんは、「多くの方に見ていただき、力になりました。これからも踊りを受け継いでいきたいです。」と話されました。

**「頭教をどり」を東本願寺で奉納**  
 ～春日と日坂の住民で伝え継ぐ～



▲木質ペレットで稼動するボイラー

4月23日(土)、かすがモリモリ村リフレッシュ館(春日六合)の入浴施設に、木質ペレットを燃料にしたボイラーが導入され、完成式が行われました。

このボイラーは、揖斐川町の山から出た間伐材を加工した「ペレット」を燃料とし、そのペレットは、いび森林資源活用センター協同組合の工場(西津波)で生産されます。

従来のボイラーに比べ、年間で燃料費で160万円、二酸化炭素においては、200トンが削減されます。これにより地域の森林資源を有効活用して、循環型社会の構築が推進されます。

この施設は、今年度中に藤橋と久瀬地域の温泉施設にも導入されます。

**かすがモリモリ村入浴施設**  
**バイオマス燃料ボイラー完成式**



▲幼稚園児によるステージイベント

揖斐高原花桃フェスタ2011が、4月24日(日)、揖斐高原貝月リゾート(日坂)で行われました。

当日は、暖かな春の日差しが心地よく会場では花桃が咲き始めていました。メインステージでは、幼稚園児の鼓笛や遊戯、久瀬小中学校の児童生徒の合唱などが披露され、前日に行なわれた前夜祭のカラオケ大会の上位入賞者も熱唱しました。

会場では、花壇・フラワープランターの独創性を競う寄せ植えの「花美&花壇コンテスト」もあり、作品の展示や表彰式が行われました。

バザーや体験コーナーも人気があり、大勢の来場者が高原の春を楽しんでいました。

**揖斐高原花桃フェスタ2011**  
 ～さわやかな春風に吹かれて～



▲支援住宅輸送出発式の様子

東海大学が取り組んでいる、「3・11生活復興支援プロジェクト」の一環で、重機が無くても建てられる仮設住宅の部品を作る活動に対して、同大学と交流のある株式会社スギヤマ(北方)と株式会社末永製作所(房島)が木材調達や部品加工作業所の提供などで協力されました。

4月28日(木)には、部品加工所となった株式会社スギヤマの工場から支援住宅の1棟目となる仮設集会所の建築部材が、10トントラック2台に積み込まれ岩手県大船渡市へ向けて出発しました。

支援住宅は、約230個の部品で構成され、これらを組み合わせると約30平方メートルの木造平屋の建物になります。

**支援住宅を東日本大震災被災地へ**  
 ～町内業者がバックアップ～

東津汲鎌倉踊

〜力強く華麗な舞〜

4月29日(金・祝)、白髭神社(東津汲)で、岐阜県重要無形民俗文化財の鎌倉踊が披露されました。

鎌倉踊は、武者踊り、太鼓踊り、または、シナイ踊りとも呼ばれ、源氏が平家を滅ぼしたときに、戦勝を祝って踊ったものと伝えられています。

この日は、関係者や地域の皆さんなど約200人が集まり、神社の境内では、5色に彩られた飾りが華やかに舞いました。

また、久瀬振興事務所隣のやまびこの郷駐車場でも披露され、施設の入所者などが力強く華麗な舞を楽しみました。



▲力強く華麗な舞が披露されました

地域で作った大わらじを奉納

〜谷汲横蔵・両界山横蔵寺〜

4月29日(金・祝)、谷汲上神原地内の両界山横蔵寺で大わらじの奉納が行われました。

仁王門に架かる大わらじは、古くから仁王が履くわらじとして伝えられ、健康祈願や悪いものを追い払うなどの意味が込められていました。横蔵寺の大わらじは、10年ぶりに地元住民延べ約80人が3月19日(土)〜20日(日)にかけて2足作りしました。長さ約2メートル、幅約85センチメートルで、重さは、1足分で約70キログラムです。

奉納の当日は、大わらじを担いで上神原地内を練り歩き、村中和合や五穀豊穡を願って横蔵寺に奉納されました。



▲大わらじ奉納(横蔵寺本堂前で)

徳山ダムサイトに

「いび特産品販売所」オープン

昨年に引き続き、4月29日(金・祝)から、徳山ダムサイトに常設の「いび特産品販売所」がオープンしました。悪天候の場合を除き、11月までの土・日・祝祭日に開店する予定です。

初日となった29日は、揖斐川町の特産品である「沢あざみ」を使ったおやきや、揖斐川水源グッズ、宙吹ガラス工房のトンボ玉などが販売され、お客さんは「揖斐川町にはこんなものもあるんだね。」と買い物を楽しまれました。

この販売所では、町内の特産品や、町内産の農産物を使用した飲食物が提供される予定です。ダムの壮大な景色と、町内特産品をお楽しみください。



▲徳山ダムサイト「いび特産品販売所」

徳山ダム観光放流

〜水が織りなす模様感動〜

総貯水容量日本一を誇る徳山ダムで、4月29日(金・祝)〜5月3日(火・祝)にかけて観光放流が行われました。

観光放流は、10時〜15時まで1時間おきにそれぞれ10分間、洪水時のゲートを開いて、毎秒約3トンの水を放流。流れ出した水は、全長約270メートルのダム堤体斜面にウロコ模様を描きながら流れ落ちました。

来場者は、水が描く模様に感嘆の声を上げていました。

期間中は、2800人の観光客が訪れ、徳山ダムと揖斐の雄大な自然を楽しみました。



▲観光放流を楽しむ観光客

平成23年度立志式開催  
229人の心がひとつになった！

揖斐川町では、昔の元服にちなんで15歳になる中学3年生の成長を祝うとともに、自らの将来について考える機会をもつために立志式を開催しています。

今年も、5月2日(月)に、谷汲サンホールで、揖斐川町内の中学3年生229人が参加しました。

町長式辞・来賓あいさつに続いて行われたキャンドルセレモニーでは、野原教育長から火を受け継ぎ、大人がもつ責任の重さを、火を扱うことの責任の重さになぞらえ、大人になることがどういうことなのかの確認をしました。

その後、火が全員に分火され、最初小さかった火はやがてホール全体を照らす光となり、最後には全員の思いをひとつにまとめた炎となつ



▲キャンドルセレモニーの様子



▲タイムカプセル投入の様子

て、宗宮町長に預けられました。

その後、作文「私の夢」を代表の春日中・揖斐川中の生徒が朗読し、作文をタイムカプセルに入れました。

続いて、町内で活躍されている先輩からメッセージが送られると、生徒たちは熱心に聞き入り、質問のコーナーでは、将来の夢をもつ中学生が感想を述べるシーンもありました。

そして、立志式の記念として、イラストや写真等を使って、自分でデザインした記念マグカップを宗宮町長から受け取り、式典を終了しました。

最後に、「走る川」を全員で合唱し、参加した229人の歌声が迫力あるハーモニーとなってホールを包みましました。

司会者をはじめ、各中学校の代表者が中心となり、生徒の皆さんが、厳粛な雰囲気の中で、志を高められた、すばらしい式典となりました。今後も、学生生活を充実させ、揖斐川町で活躍をしていただけることを期待しています。

豪華絢爛揖斐まつり

古より伝承される技と心

揖斐川町を代表する伝統文化行事である揖斐まつりが、5月4日(水・祝)〜5日(木・祝)に三輪神社で開催されました。

今年も天候にも恵まれ、岐阜県重要有形民俗文化財に指定されている豪華絢爛な5輦の芸軸と、その舞台で練り広げられる華やかな子供歌舞伎、そして11基の勇壮な神輿の渡御を一目見ようと、2日間で約4万人の観光客が訪れ、祭りは大いに盛り上がりました。

今年の子供歌舞伎は、下町組による『式三番叟 絵本太功記十段目 尼ヶ崎閑居の場』が上演されました。



▲子供歌舞伎の奉納 (三輪神社)



▲神輿発御 (三輪神社)



▲子供歌舞伎の練り込み (本町通り)